

# Hand in Hand

## 会場に響き渡った心のハーモニー



2年ぶりに開催された合唱コンクール。どのクラスも仲間と呼吸を合わせ、声を合わせ、“私たちのクラスだからこそ歌える合唱”をホールいっぱいに響かせることができました。さすが3年生、大変素晴らしい合唱でした。

合唱は「合わせて唱う」と書く。その意味を、私は今回の合唱祭で学んだ。

3年生の自由曲は、パートごとに歌う場所が違ったり、音程が高いところと低いところを行き来したりして歌うことが難しい曲が多いように感じた。そんな中で3年1組の曲に決まったのは「はじまり」だった。

歌詞の意味が捉え辛いこの曲を、歌詞の意味が伝わるように歌うのは難しかった。パート練習でもなかなかテンポや音がかめず、苦勞した。けれどパートリーダーさんの声がけで、何とか前向きに練習することができた。

そして、本番まであと1週間という学年リハーサルの日。ピアノの音が出なかったり、歌いだしのタイミングが合わなかったり、合唱の難しさを痛感させられた日だった。けれど、それがきっかけで、クラス全体に火が着いた気がする。その日をきっかけに、私にも「みんなで心を合わせて歌おう」というやる気が芽生えた。少し遅すぎたかもしれないが、それでもより一層一生懸命に歌った。数日後の全体練習で、以前より格段に声を出して歌えるようになったとき、ひそかに感動していたりもした。

合唱当日。バクバク忙しくなく動く心臓を心配してしまうほどに緊張していたが、友だちと話したおかげで、少し落ち着きを取り戻した。サンプラザホールで2年ぶりに立った舞台は、とてもまぶしかった。まだ少し緊張していたけれど、それでもみんなと「合唱」していた。歌い終わって解散になったあと、解放感と達成感で満たされたのは言うまでもない。

今回の合唱祭は、いろいろな人の頑張りと協力によって成り立っていたと思う。特にパートリーダーの3人、指揮者、伴奏者さんたちには感謝してもきれない。

1組



楽譜表紙絵

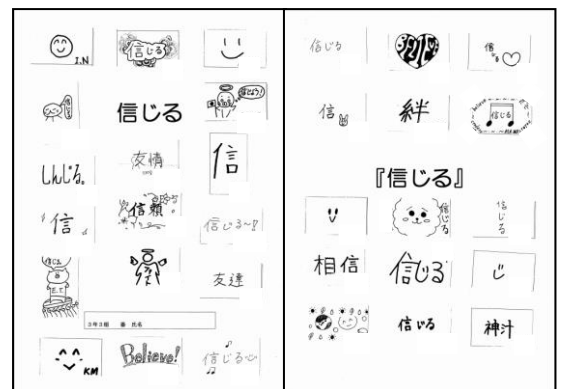
さん作

7月7日、私たち3年3組は最優秀賞、指揮者賞、伴奏者賞の三冠を達成することができました。三冠を達成できたのは、一人一人が日々の練習を頑張り、努力し、みんなで団結することができたからだと思います。本当にとることができたことが嬉しいし、この3組のみんなで掴みとることができて、本当に良かったです。

今回の合唱祭を通して、気づいたことがあります。一つ目は、3組は団結力が強くなったということです。練習のときは、近くの人と話していたり、真面目に取り組めていない人が多かったこともありましたが、本番はみんなが最優秀賞をとろうと団結していました。二つ目は、たくさんの方が支えてくれるおかげで賞をとることができるということです。振り返ってみると、音楽の先生や担任の先生方、指揮者、伴奏者、パートリーダー、合唱祭実行委員などの人たちが支えてくれていたと思います。だから、様々な人に感謝しなければならぬと感じました。今回はその感謝の気持ちを合唱という形で表現できていたと思うので、とても良かったと思います。

最後に、本当に最優秀賞、指揮者賞、伴奏者賞の三冠を達成することができ、良かったです。これは、私たちが毎日を大切に、一生懸命練習してきた証だと思います。

3組



楽譜表紙絵

### 《 受賞結果 》

最優秀賞 3組『信じる』

指揮者賞

さん

伴奏者賞

さん

おめでとうございます！